

大津町立認定こども園他施設及び昭和園整備基本構想策定業務委託 報告書（概要版）

株式会社 ライト設計

01. はじめに

1. 目的
2. 基本方針
3. 基本構想策定の手順

02. 現状と課題

1. 町の概要
2. 町の現状と課題
3. 既存園舎の現状と課題
4. 既存子育て・健診センターの現状と課題
5. 昭和園の現状と課題

03. 実施に向けた諸条件

1. 立地条件
 - (1) 風土・気候条件
 - (2) 地盤状況
 - (3) 敷地周辺環境
 - (4) インフラ状況
2. 法的条件
 - (1) 関係法令・条例等一覧
 - (2) 各法令・条例等チェックリスト
3. 計画と条件
 - (1) 計画候補地のゾーニング
 - (2) 施設の規模・構造
 - (3) 公立認定こども園＋子育て支援拠点のあり方
 - (4) 駐車場の確保

04. 公園内保育所の事例

- (1) にじの森保育園
- (2) 茶々そしがや保育園
- (3) まちのこども園代々木公園
- (4) 芦花の丘かたるば保育園

05. 計画案の検討

1. 計画案比較表
 - (1) A～E案 配置計画図
 - (2) 昭和園 計画図
2. E案配置・平面計画

06. 事業スケジュール

1. 事業スケジュール（設計・工事等）

07. 概算事業費

1. 概算事業費
 - (1) ⑤大津町こども園・子育て支援施設新築 概算事業費
 - (2) ②⑩駐車場再整備工事 概算事業費
 - (3) ⑨橋梁改修工事 概算事業費
 - (4) ①④⑥⑦⑧⑪昭和園再整備工事 概算事業費

08. 参考資料

・地盤調査報告書（室小学校H30.01調査分・あけぼの団地S56.05調査分抜粋）

01. はじめに

1. 目的

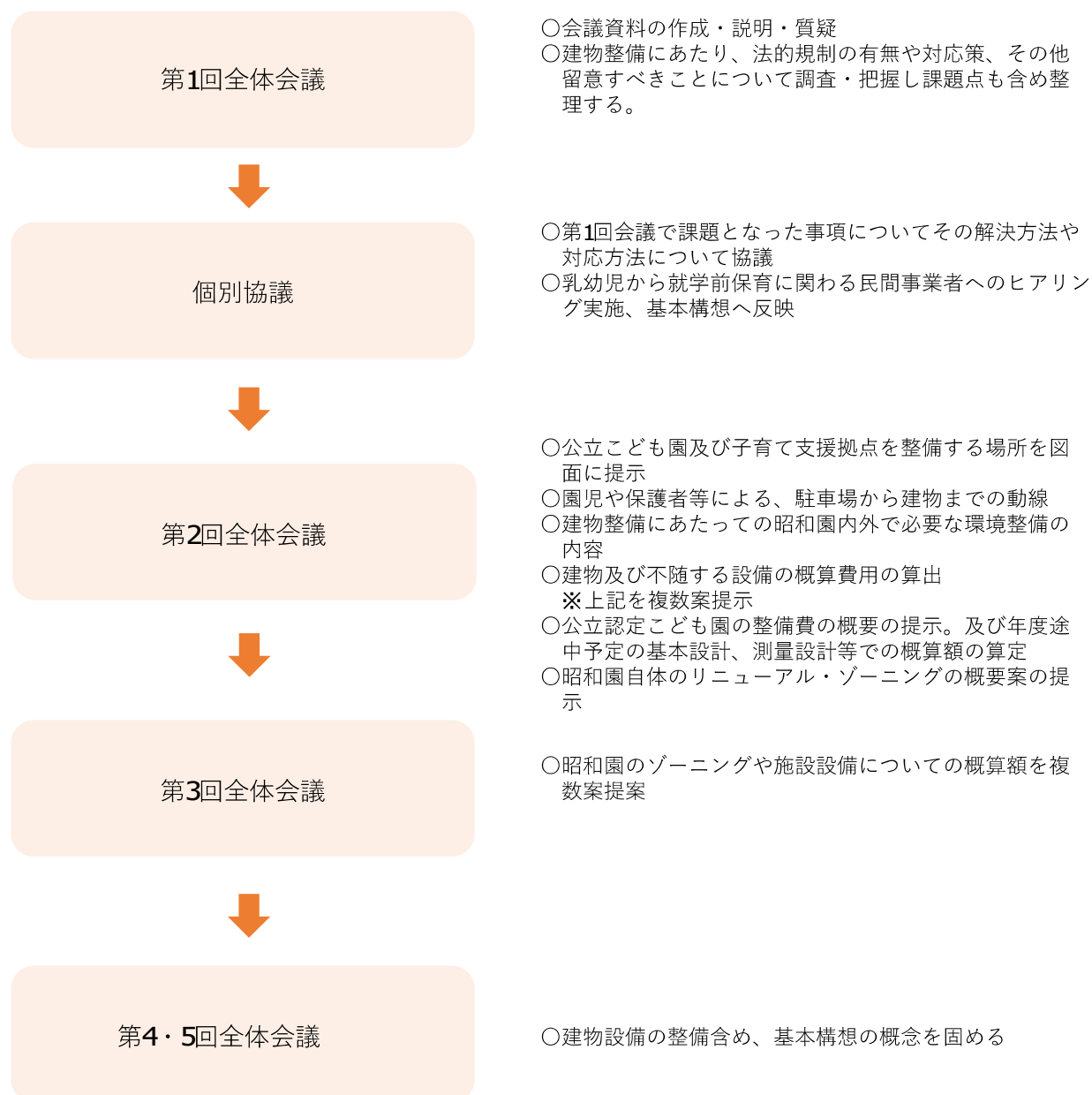
本業務は、より良い子育て環境の整備のため、大津町の掲げる「大津町公立保育等再編方針」に基づき、子育て支援拠点として、昭和園全体における子どもや子育て世代が気軽に来て、憩える、世代を超えた交流のためのゾーニングを行い、認定こども園と子育て支援施設の一体的な整備を目的とし、本事業の運営方針、将来的な可変性、地域との関連性を含めた事業を検討し「子育て」の面から必要かつ十分な支援ができるよう施設を整備するための基本構想、併せてリニューアル後の姿も策定する。

2. 基本方針

- (1) 幼児教育の拠点
- (2) 相談機能も含めた子育て支援の拠点
- (3) 地域のセーフティネット
- (4) 幼稚園機能と保育園機能の維持を備えた公立認定こども園とすること

3. 基本構想策定の手順

認定こども園他施設及び昭和園の基本構想の策定手順は以下の通りとする。



02. 現状と課題

1. 町の概要

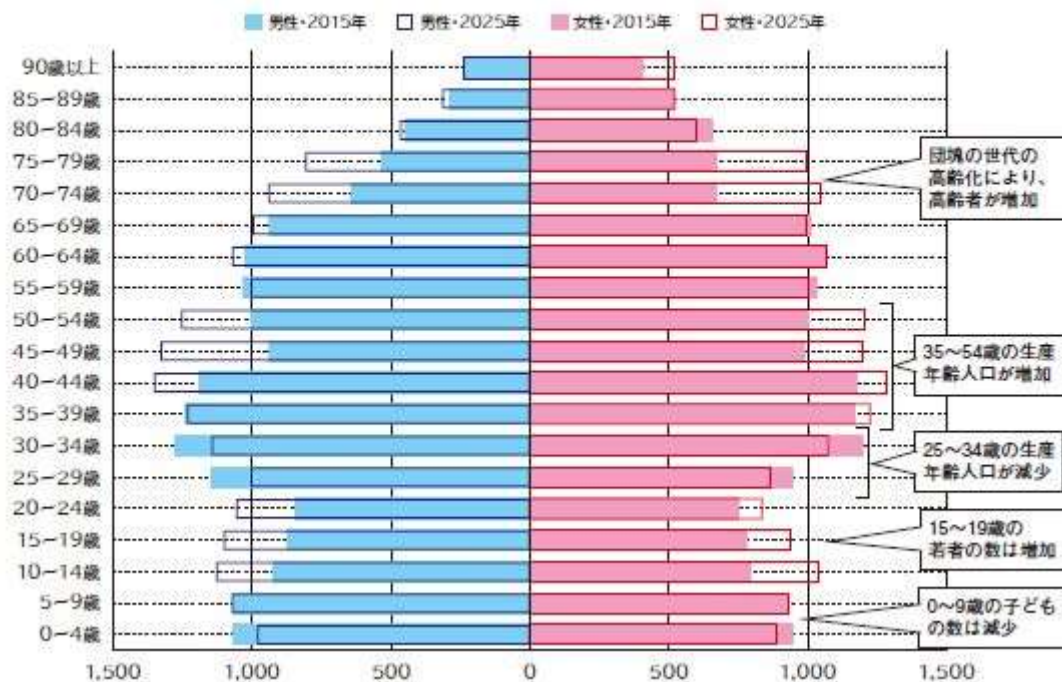
大津町は、熊本市の東方約20km世界最大のカルデラを有する阿蘇山と熊本市の中間点に位置しており、別府、阿蘇、雲仙など国際観光ルートの路線にある。東西に13km、南北に11km程で、町の面積は99.10平方kmとなっている。

地形は阿蘇外輪山西部に連なる広大な山林、原野地帯と、それより続く緩やかな傾斜をなして広がる北部畑作地帯、阿蘇山を源として東西に貫流する一級河川の白川の豊かな流れによって形成された肥沃な水田地帯の中部平野、阿蘇外輪山南部から熊本空港へと連なる南部畑作台地に区分される。

* 大津町国土強靱化地域計画（R5.3）より

所在地：熊本県菊池郡大津町室
敷地面積：43,215.23㎡
用途地域：都市計画区域内
第2種低層住居専用地域
建蔽率：50%
容積率：100%
防火指定：なし
高さ制限：12m

◆ 人口ピラミッド（2015年と2025年の5歳階級別の人口構成の比較）



平成27年（2015年）の人口構成をみると、男女ともに25歳～44歳、0歳～9歳の人口が多くなっている。

推移の結果、令和7年（2025年）の人口構成をみると、25歳～34歳の人口が減少することが予想されている。

また団塊の世代の高齢化により高齢者が増加することが予想されている。

※第6次大津町振興総合計画より

2. 町の現状と課題

大津町の人口は、昭和50年（1975年）以降増加傾向で、国立社会保障・人口問題研究所（平成30年推計）による人口推計においても令和7年（2045年）まで増加することが予想されている。

しかし、国、県においては、急激な少子高齢・人口減少社会に突入しており、地方創生の取り組みをはじめ、様々な対策が進められている。

大津町においても、令和7年（2045年）をピークに減少することが予想されており、地方都市を取り巻く人口減少における社会的影響は、将来起こる現象として、改善策、対応策を検討することが求められる。

大津町ではこれまでの産業集積の取り組みにより、就業のタイミングで大津町へ移動する人が多く、若い人の流入・定住が進んだ結果、子育て世代や子どもの数が増加するなど、着実に人口増加が進んできた。しかし、我が国全体の人口構造は大きく変化しており、若い世代の人口が大きく減少している。

若い人の流入に加え、子ども医療費の助成、民間と連携した待機児童対策等により、国や県に比べ高い出生率となるなど、一定の効果が出ているといえる。しかし、アンケート調査結果（人口ビジョン）における独身者の「結婚希望率」は、全国平均に比べて低いことや、保育園や幼稚園の環境の満足度を高めていくには、更なる改善も求められる。

大津町の地域別の人口動向をみると、町中心地域では急激に人口が増加している一方で、南部、北部地域では人口減少が顕著な地域もあり、二極化が進んでいる。

人口減少が顕著な地域では、高齢化率も高く、高齢者だけの世帯も増加するなど、農業をはじめとした地域産業の維持や、祭りや地域コミュニティ等の維持ができなくなることも想定されている一方、市街地では若者の流入により、単身世帯や核家族世帯が増加し、地域サービス（待機児童対策等）が不足するなど、新たな地域コミュニティの形成における課題が生じている。

将来、大津町においても人口減少による生活サービスの縮小、税収減等による行政サービスの低下、空き家・空き店舗・空き工場・耕作放棄地の増加、地域コミュニティの衰退が、生活利便性の低下や地域の魅力低下をもたらし、更なる人口減少を招くことが想定される。このため総合的な観点から人口減少・少子高齢化対策に向けた取り組みが求められる。

大津町の活力を維持するためには、人口を維持・増加させることが必要である。それには働く場の確保とともに、若い人が住みたい、住み続けたいと感じる取り組みが重要となる。このため、各種産業と連携した就業機会の維持・創出による「社会増加（流入人口の増加）」の取り組みに加え、出生率を高める（将来を担う子どもの数を増やす、子育て世代を増やす）ような「自然増加」の取り組みが求められる。

※第6次大津町振興総合計画より

3. 既存舎園の現状と課題

既存園のあゆみ

1958年 4月	大津保育園開園
1961年 4月	陣内幼稚園開園
1986年 3月	大津保育園落成
1988年 3月	都市公園「昭和園」完成

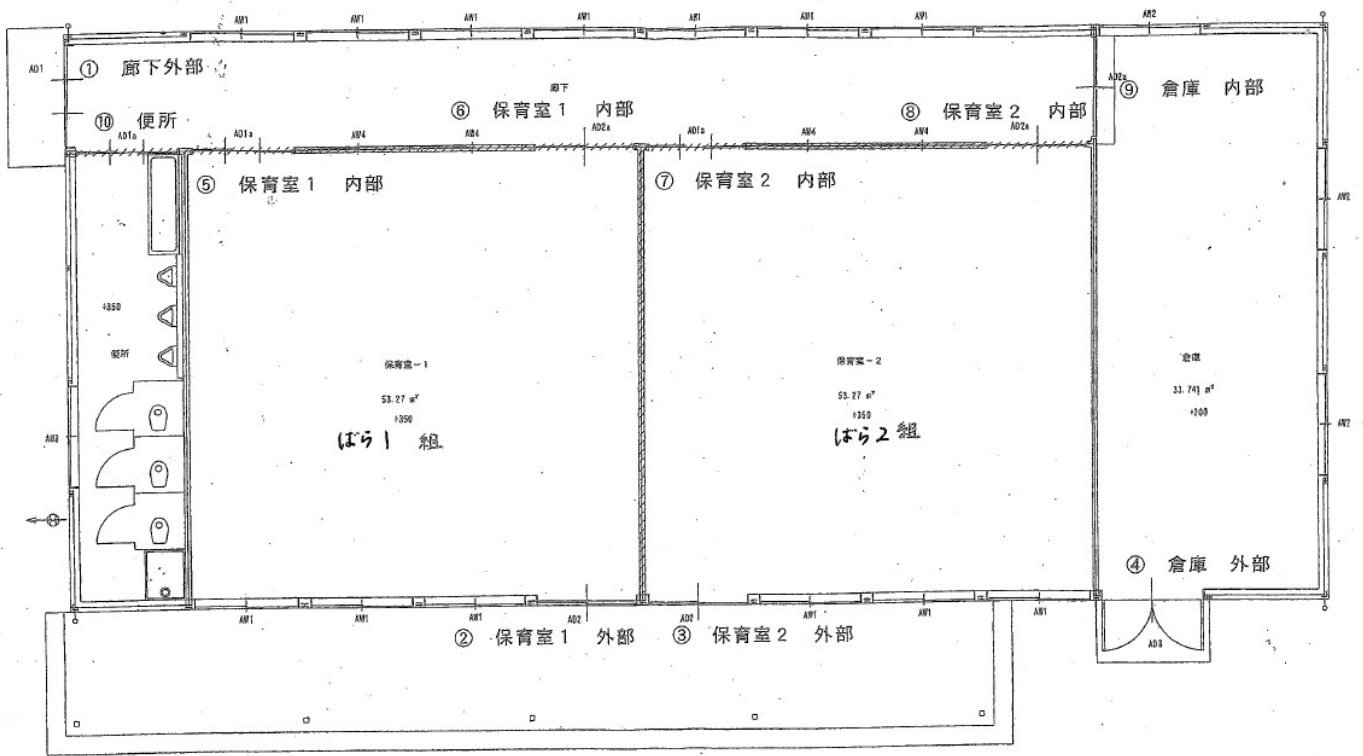
大津保育園現在の規模 定員120人	陣内幼稚園現在の規模 定員120人（現在43人）
いちご（乳幼児室・ほふく室含む） 52.00㎡	遊戯室 81.98㎡
ひまわり 48.00㎡	遊戯室 45.95㎡
すみれ 42.00㎡	普通 78.58㎡
たんぽぽ 42.00㎡	普通 62.73㎡
りんご 42.00㎡	普通 62.73㎡
ばら1組 53.27㎡	職員室 21.42㎡
ばら2組 52.27㎡	
職員室 60.00㎡	
調理室等 80.00㎡	
遊戯室 96.00㎡	
延べ床面積 716.11㎡	延べ床面積 422.53㎡

02 現状と課題

大津町立認定こども園他施設及び昭和園整備基本構想策定業務委託

3 既存園舎の現状と課題

大津保育園平面図 (尺度任意)

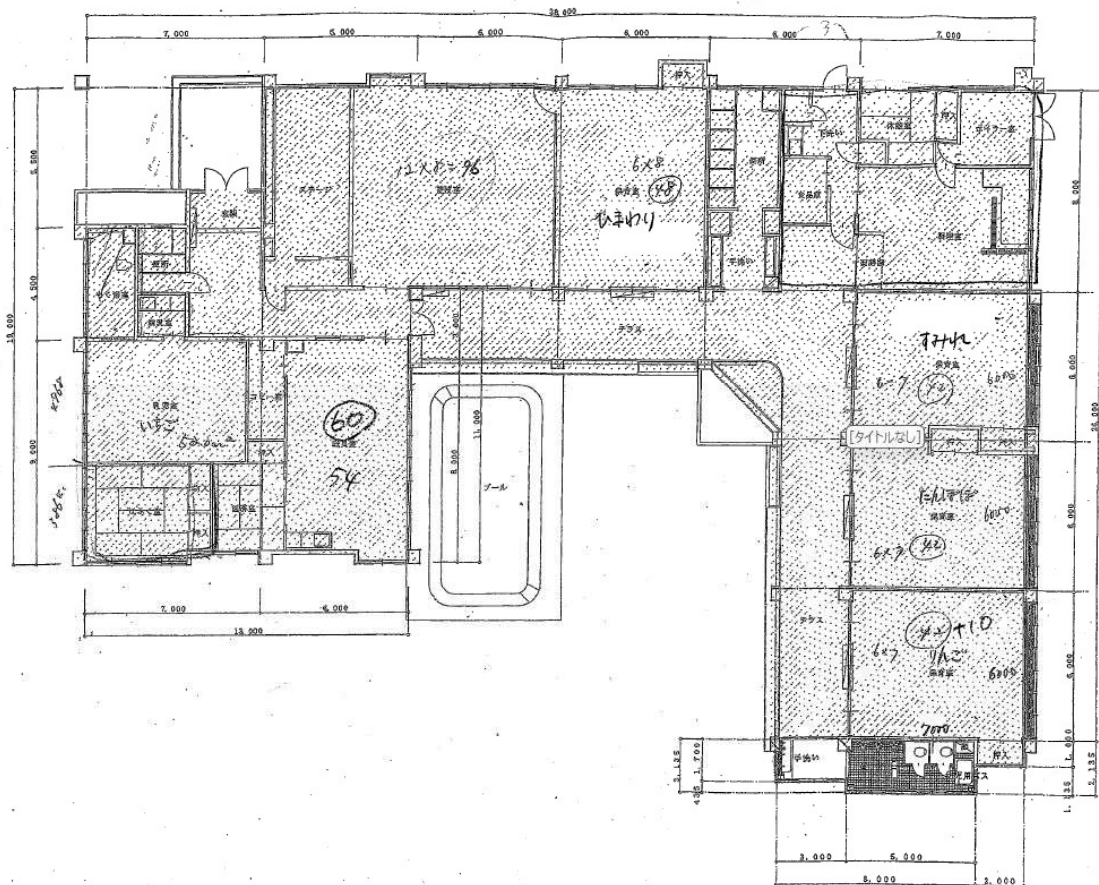


02 現状と課題

大津町立認定こども園他施設及び昭和園整備基本構想策定業務委託

3 既存園舎の現状と課題

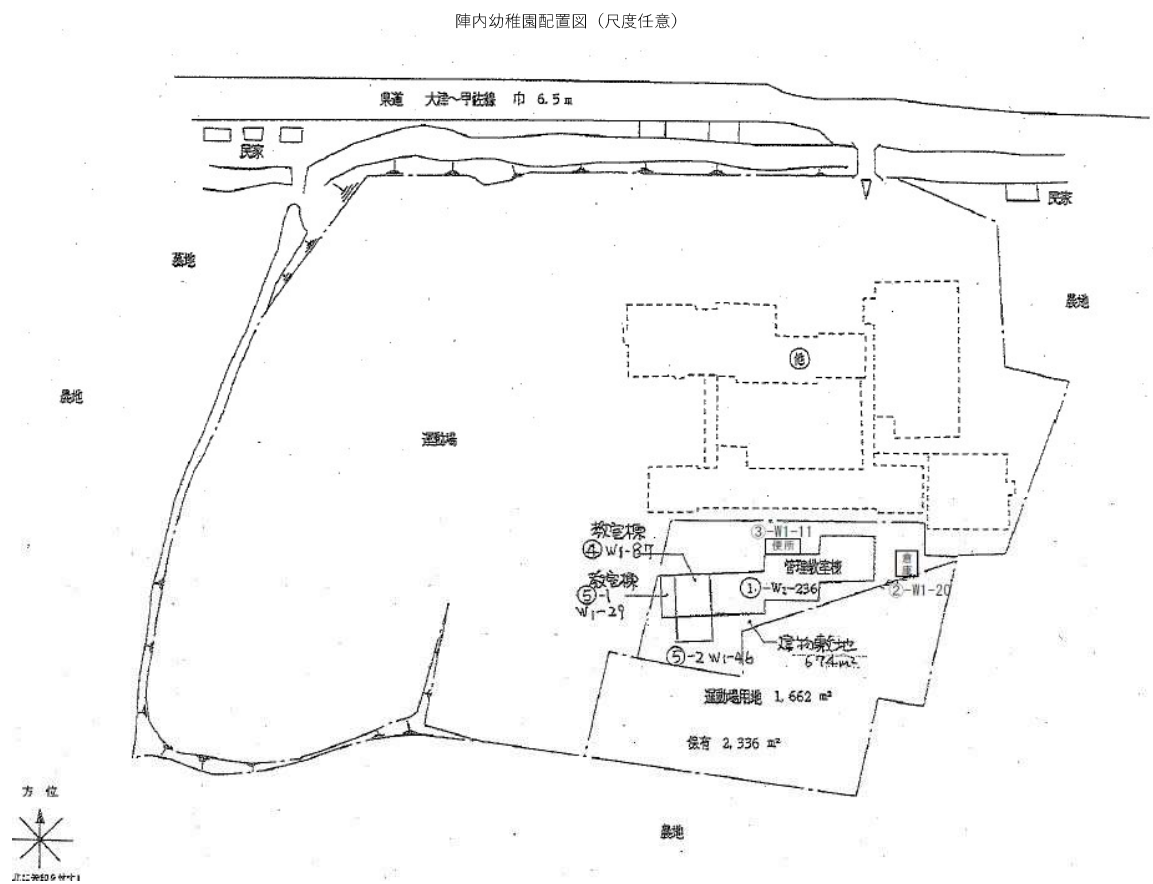
大津保育園平面図 (尺度任意)



02 現状と課題

大津町立認定こども園他施設及び昭和園整備基本構想策定業務委託

3 既存園舎の現状と課題

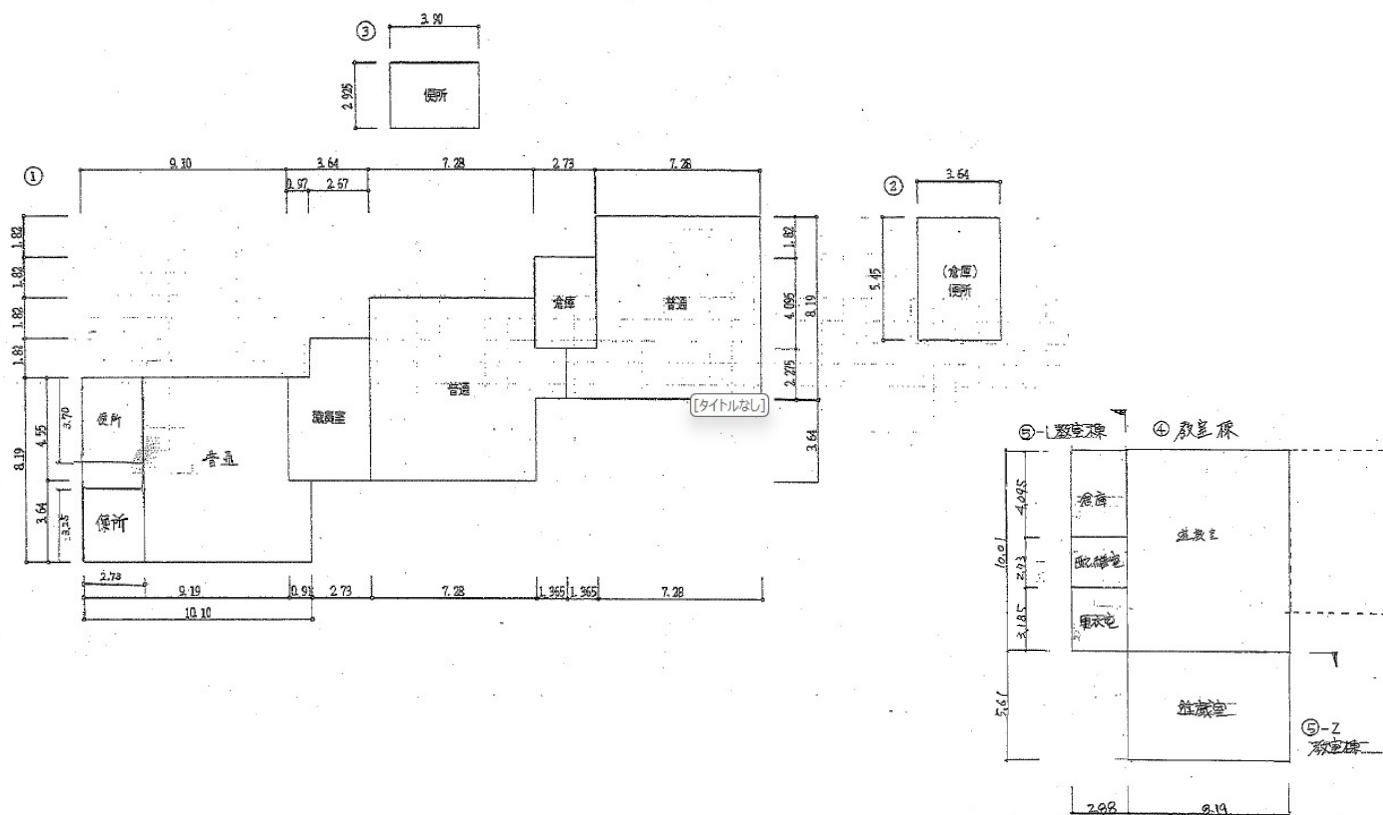


02 現状と課題

大津町立認定こども園他施設及び昭和園整備基本構想策定業務委託

3 既存園舎の現状と課題

陣内幼稚園平面図（尺度任意）



3. 既存園舎の現状と課題

大津保育園の課題

(1) 駐車場

大津保育園駐車場は現在 43 台分職員駐車場が別々の場所（3 か所）にあり安全面と利便性に問題を抱えている。



(2) 園舎の広さ

園舎は現在 120 人の園児に対して手狭になっており職員スペースや調理室、トイレも十分な数が足りていない状況にある。



02 現状と課題

大津町立認定こども園他施設及び昭和園整備基本構想策定業務委託

3. 既存園舎の現状と課題

大津保育園の課題

(3) 園庭

園庭は以前は見守りしやすい状況だったが増築により視野が狭くなり見守りが難しい状況にある。



陣内幼稚園の課題

(1) 園舎

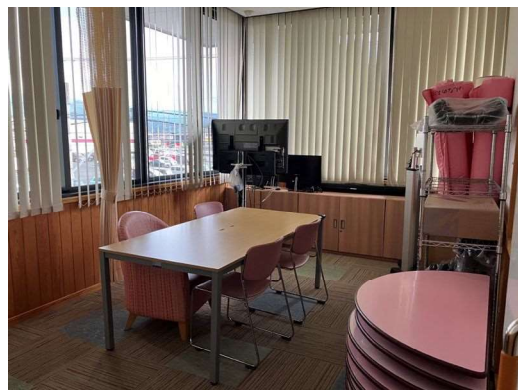
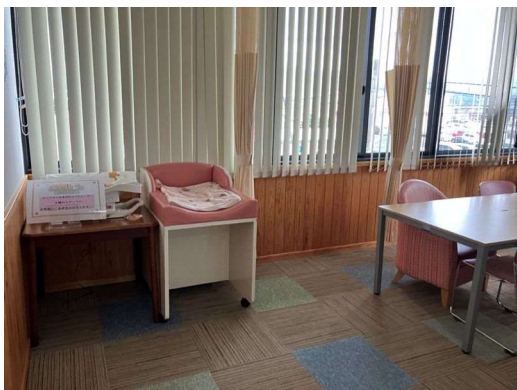
陣内幼稚園園舎は老朽化が進んでおり、またトイレは室外にあり雨天時や冬の寒い時期など不便な状況にある。職員用休憩室がなく現在職員は遊戯室で休憩を取っている。



4. 既存子育て・健診センターの現状と課題

(1) 研修室・相談室

研修室に体重計があるので研修中は体重測定ができない。別室にあるのが望ましい。
また様々な相談を受ける機会が多いが相談室が現状別室でないため、プライバシーの問題が有る。



(2) 病児・病後児室

病児と病後児を見る部屋が一つしかない為、感染の心配が有る。病児・病後児は別室が望ましい。



5. 昭和園の現状と課題

- ①子どもや子育て世帯の利用が少ない。園内レイアウトの再構築。
- ②子どもたちが遊ぶとしても薄暗い雰囲気です治安面の心配がある。
- ③誰もが安心して遊べる遊具の整備。
- ④つつじの町の象徴である昭和園での、つつじや桜の既存樹木のあり方。
- ⑤バリアフリー化



03. 実施に向けた諸条件

1. 立地条件

(3) 敷地周辺環境



03 実施に向けた諸条件

大津町立認定こども園他施設及び昭和園整備基本構想策定業務委託

1. 立地条件

(3) 敷地周辺環境



1



2



3



4



5



6

03 実施に向けた諸条件

大津町立認定こども園他施設及び昭和園整備基本構想策定業務委託

1. 立地条件

(3) 敷地周辺環境



7



8



9



10



11



12

03 実施に向けた諸条件

大津町立認定こども園他施設及び昭和園整備基本構想策定業務委託

1. 立地条件

(3) 敷地周辺環境



13



14



15



16



17



18

03 実施に向けた諸条件

大津町立認定こども園他施設及び昭和園整備基本構想策定業務委託

1. 立地条件

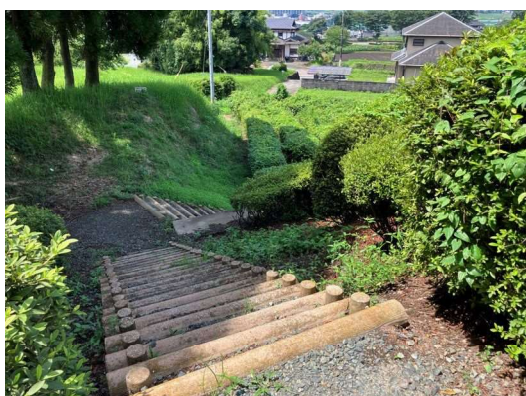
(3) 敷地周辺環境



19



20



21



22



23



24

03 実施に向けた諸条件

大津町立認定こども園他施設及び昭和園整備基本構想策定業務委託

1. 立地条件

(3) 敷地周辺環境



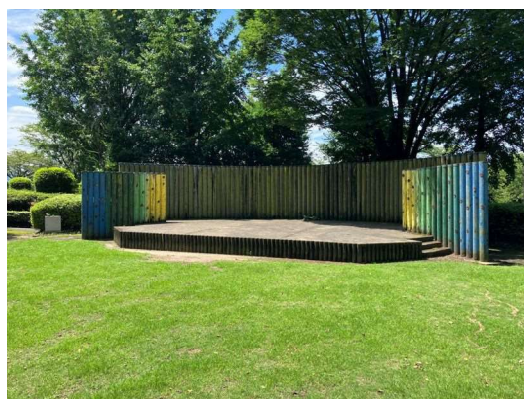
25



26



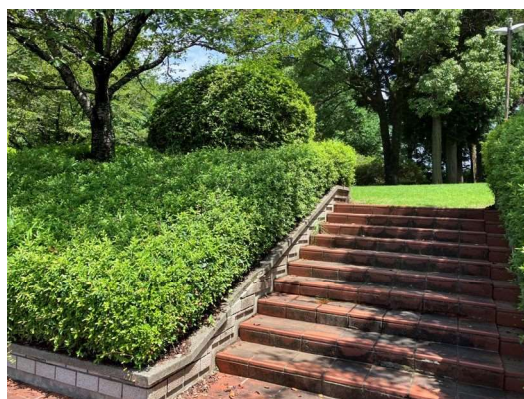
27



28



29



30

03 実施に向けた諸条件

大津町立認定こども園他施設及び昭和園整備基本構想策定業務委託

1. 立地条件

(3) 敷地周辺環境



31



32



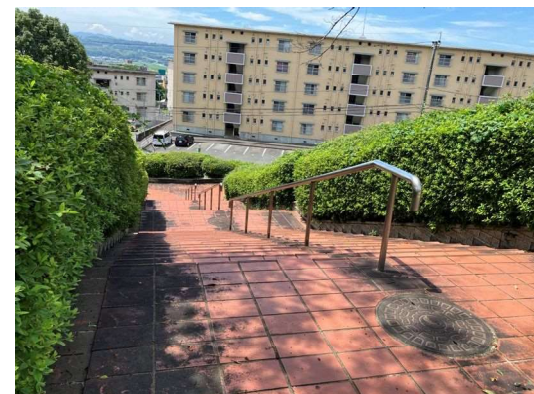
33



34



35



36

03 実施に向けた諸条件

大津町立認定こども園他施設及び昭和園整備基本構想策定業務委託

1. 立地条件

(3) 敷地周辺環境



37



38



39



40



41



42

03 実施に向けた諸条件

大津町立認定こども園他施設及び昭和園整備基本構想策定業務委託

1. 立地条件

(3) 敷地周辺環境



43



44



45



46



47



48

03 実施に向けた諸条件

大津町立認定こども園他施設及び昭和園整備基本構想策定業務委託

1. 立地条件

(3) 敷地周辺環境



49



50



51



52



53



54

03 実施に向けた諸条件

大津町立認定こども園他施設及び昭和園整備基本構想策定業務委託

1. 立地条件

(3) 敷地周辺環境



55



56



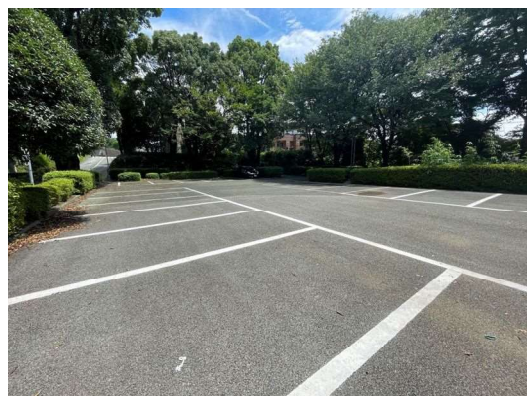
57



58



59



60

03 実施に向けた諸条件

大津町立認定こども園他施設及び昭和園整備基本構想策定業務委託

1. 立地条件

(3) 敷地周辺環境



61



62



63



64



65



66

03 実施に向けた諸条件

大津町立認定こども園他施設及び昭和園整備基本構想策定業務委託

1. 立地条件

(3) 敷地周辺環境



67



68



69



70



71



72

03 実施に向けた諸条件

大津町立認定こども園他施設及び昭和園整備基本構想策定業務委託

1. 立地条件

(3) 敷地周辺環境



73



74



75



76



77



78

3. 計画と条件

(1) 計画候補地のゾーニング

認定こども園・子育て支援施設計画候補地として比較的平坦でまとまった敷地として確保が可能なA・B・Cの敷地を選出した。

<各敷地検証>

A・・・既存駐車場部分に計画するため駐車台数は減るが西側へ駐車場を拡張することにより台数を確保できる。東側駐車場からアクセスが容易である。

B・・・既存グラウンドゴルフ利用者が利用できなくなる。高低差処理にコストがかかる。

C・・・東側隣地の竹藪により日当たりが悪い。駐車場から出入口までの距離が長くなってしまう。敷地境界の高低差処理にコストがかかる。

上記検証によりA敷地を計画地として選定する。



3. 計画と条件

(2) 施設の規模・構造

当社の過去の保育園・幼稚園の実績表は下記の通りで、定員一人当たり平均約11.10㎡となっているため認定こども園定員100人に対し1200㎡程度の規模で計画する。
建物の構造は鉄骨造又は木造を想定する。

保育園・幼稚園 実績表													
No.	竣工年	発注者	建物名称	用途	定員	敷地面積	園庭面積	駐車場	駐車台数	延床面積	構造	規模	定員1人 当りの 床面積 (㎡)
1	2000	宇土市	A幼稚園	幼稚園	180	5,407	2,980	1,003	19	747	木造（在来工法）	平屋建て	4.15
2	2018	民間	A保育園	保育園	90	2,620	680	300	29	1,226	鉄骨造	2階建て	13.62
3	2018	民間	B保育園	保育園	90	1,135	430	敷地外		842	鉄骨造	2階建て	9.36
4	2016	山都町	C保育園	保育園	60	2,937	1,100	260	10	782	木造（在来工法）	平屋建て	13.05
5	2015	民間	D保育園	保育園	110	5,654	1,010	820	17	1,061	鉄骨造	平屋建て	9.65
6	2015	民間	A幼楽園	保育園	120	3,574	1,150	440	18	1,237	鉄骨造	2階建て	10.31
7	2015	高森町	E保育園	保育園	20	1,729	908	敷地外		337	木造（KES工法）	平屋建て	16.85
8	2013	民間	F保育園	保育園	90	4,878	1,610	1,020	30	1,143	鉄骨造	2階建て	12.70
9	2012	民間	G保育園	保育園	80	2,953	520	1,130	29	902	鉄骨造	2階建て	11.28
10	2004	産山村	H保育園	保育園	75	5,975	1,540	2,190	44	842	木造（在来工法）	平屋建て	11.23
11	2004	旧河浦町	I保育園	保育園	45	1,844	460	敷地外		446	木造（在来工法）	平屋建て	9.91
										定員一人当りの床面積の平均（㎡）			11.10

必要諸室の広さ検討

必要諸室	定員	必要面積
0歳児室	8	3.3㎡×8人=26.4㎡
1歳児室	10	3.3㎡×10人=33.0㎡
2歳児室	14	1.98㎡×14人=27.7㎡
3歳児室	68	1.98㎡×68人=134.6㎡
4歳児室		
5歳児室		
遊戯室（2～5歳児）	82	1.98㎡×82人=162.4㎡

子育て支援施設	
必要諸室	必要面積
事務室	4.5人 32㎡程度
相談室（研修室）	2人×2室 9.0㎡×2室=18.0㎡程度
プレイルーム	95人 192㎡程度

3. 計画と条件

(3) 子育て支援拠点（公立認定こども園、子育て支援施設）のあり方

公立園にふさわしい施設のあり方を整理する。その際の考え方として、再編方針に記載のある

①公立園は行政機関としてのネットワークを活かした地域の子育て家庭のセーフティネットとして 妊娠期から切れ目のない支援

②医療ケアを要する子どもへの対応

③生活困窮者や社会的困難を抱えている家庭への支援

が求められる。

(4) 駐車場の確保

計画予定地が現在駐車場の為、台数が減るが、西側へ駐車場を拡張し公園用駐車場台数を確保する。
また施設用駐車場は東側駐車場を利用する。

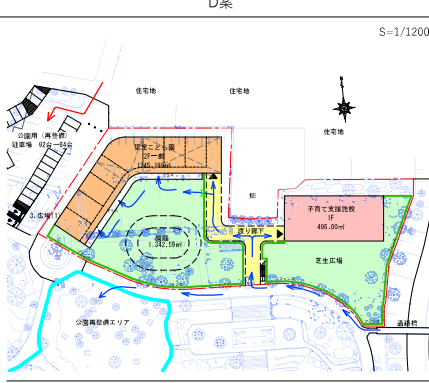
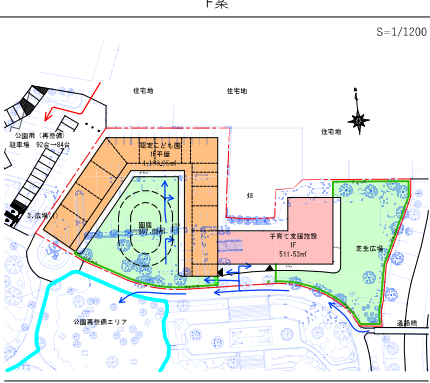


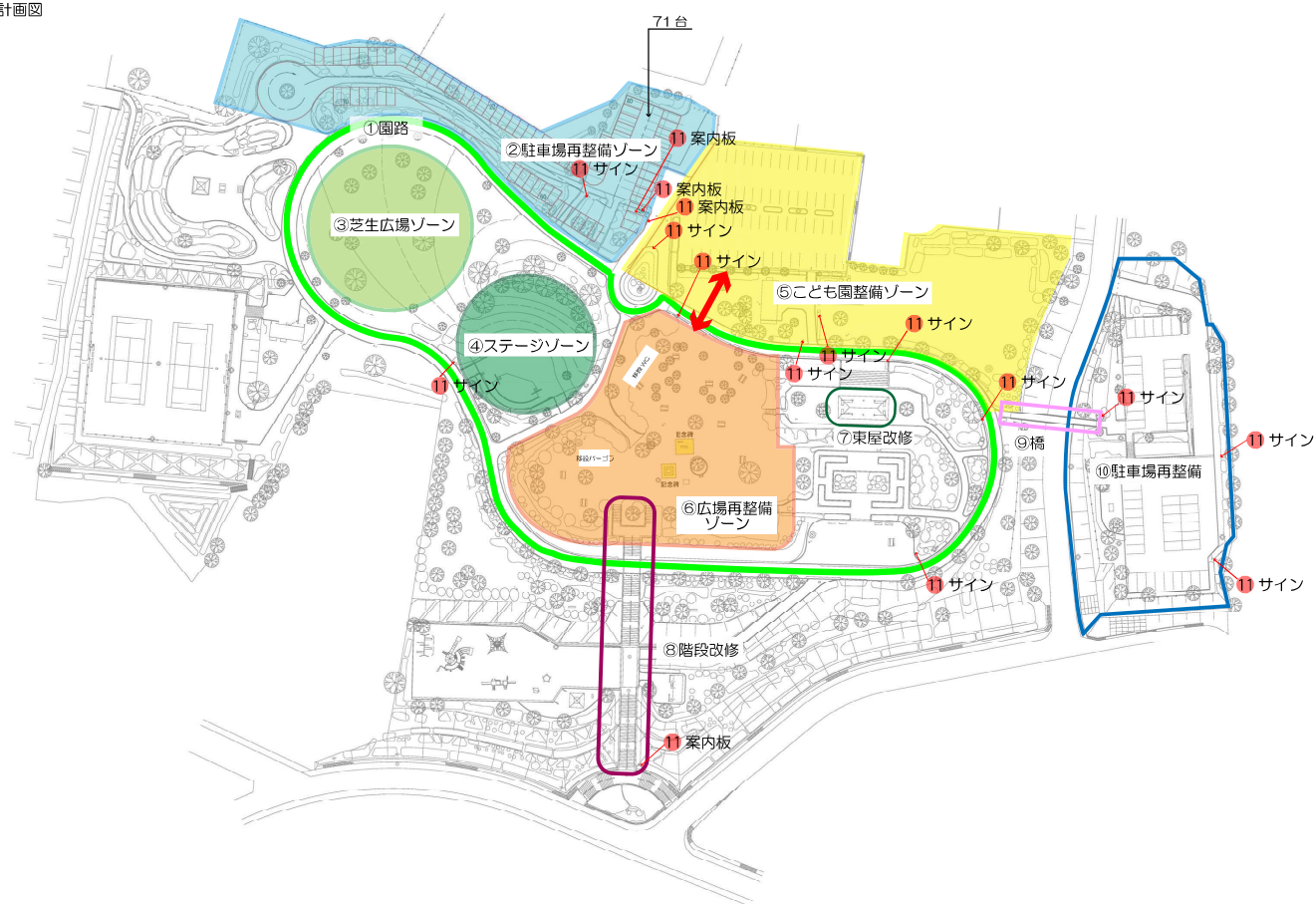
05. 計画案の検討

1. 計画案比較表

計画案	A案		B案		C案	
	S=1/1200		S=1/1200		S=1/1200	
計画案						
計画概要	北側駐車場と芝生広場に2階建てのこども園と子育て支援施設を別棟で建設する計画。遊歩道に沿って園庭を設け西側にこども園、東側の現芝生広場に子育て支援施設を配置した計画。両施設間に渡り廊下を設け、こども園2階と子育て支援施設屋上の塔屋を介して行き来できるように計画する。		北側駐車場と芝生広場に2階建てのこども園と子育て支援施設を同一棟で建設する計画。西側にこども園をL型に、東側の現芝生広場に子育て支援施設を弓型に配置した計画。両施設間にポーチを設け、行き来ができるようにした計画。		北側駐車場と芝生広場に2階建てのこども園と子育て支援施設を同一棟で建設する計画。西側部分と現芝生広場の一部にZ型に配置した計画。両施設間に共用のテラスを設け行き来できるように計画した。	
動線	◎	施設利用者は東側駐車場から徒歩で（約70m）道路橋と遊歩道を通り施設へアクセスする計画。こども園の送迎は1階南側園庭から2階は渡り廊下を介し直接アクセスできるように計画する。	○	施設利用者は東側駐車場から徒歩で（約70m）道路橋と遊歩道を通り施設へアクセスする計画。両施設に中間のポーチを介しアクセスする計画。こども園の送迎は南西側園庭から行えるように計画する。	△	施設利用者は東側駐車場から徒歩で（約60～100m）道路橋と遊歩道を通り施設へアクセスする計画。各施設への出入りは各々別とする。こども園の送迎は南西側園庭から行えるように計画する。
屋内外環境	△	こども園園舎の奥行きが深く中廊下が必要となる為、採光や通風においてやや不利な間取りとなる。	○	こども園舎は片廊下の間取りが可能ため採光、通風において優位。	○	こども園舎は片廊下の間取りが可能ため採光、通風において優位。
近隣への影響	○	既存の住宅地に比較的近い位置への計画である為、騒音等のクレームが発生する可能性があるが園庭が南側となり騒音が確保出来ること、建物が緩衝帯となり騒音の軽減も期待出来る。	△	既存の住宅地に比較的近い位置への計画である為、騒音等のクレームが発生する可能性がある。子育て支援施設の芝生広場が住宅地と隣接するため、その懸念がある。	△	こども園園庭が住宅地南側にあるため騒音等のクレームが生じやすい。
公園との一体感	◎	園庭と渡り廊下と芝生広場が近接しているため視覚的な広がりがあり、公園との一体感を持たせやすい。	○	園庭と公園は近接しているため一体感を持たせやすいが芝生広場は西側へ独立しているため公園との一体感は薄い印象となる。	○	芝生広場と公園再整備エリアは近接しているため一体感を持たせやすいが園庭は西側へ独立しているため公園整備エリアとの一体感は薄い印象となる。
セキュリティ	○	外部からの侵入の監視及び園庭の見守りも支障なし。	○	外部からの侵入の監視及び園庭の見守りも支障なし。	○	外部からの侵入の監視及び園庭の見守りがしづらい。
両施設間のフレキシブルな利用	△	両施設の2Fは渡り廊下で繋がっており、1Fは渡り廊下で屋根となり雨天時もアクセスしやすいが施設間の距離があるためフレキシブルに利用するには不便な印象が残る。	○	両施設の玄関が近接しておりポーチには屋根があるためアクセスしやすくフレキシブルな利用がしやすいが室内の繋がりはない。	○	両施設の玄関には距離があるが北側共用テラスで繋がっているためアクセスしやすくフレキシブルな利用が可能。
コスト比較	△	B・C案に比べ、渡り廊下を設ける為コストが高くなる。隣地の畑を取得できれば両施設配置を近接させ渡り廊下面積を減らすことが可能で、コストを下げる事ができる。	○	共用のポーチを設ける為C案よりはコストが高くなる。隣地の畑を取得できれば両施設配置を近接させ共用ポーチ面積を減らすことが可能、また建物を整形で計画できる為、コストを下げる事ができる。	◎	渡り廊下やポーチを設けなかった、最もコストが安い。隣地の畑を取得できれば建物を整形で計画できる為、コストを下げる事ができる。
総合評価点	19点		19点		19点	

1. 計画案比較表

	D案	E案	F案
	S=1/1200	S=1/1200	S=1/1200
計画案			
計画概要	北側駐車場と芝生広場に2階建てのこども園と子育て支援施設を別棟で建設する計画。遊歩道に沿って園庭を設け西側にこども園、東側の現芝生広場に子育て支援施設を配置した計画。両施設間に渡り廊下を設け、こども園2階と子育て支援施設屋上の塔屋を介して行き来できるように計画する。	北側駐車場と芝生広場に2階建てのこども園と子育て支援施設を同一棟で建設する計画。西側にこども園をL型に、東側の現芝生広場に子育て支援施設を配置し、幼児の増減にも対応できるフレキシブルスペースを介して両施設をつなぐ計画。	北側駐車場と芝生広場に1階建てのこども園と子育て支援施設を同一棟で建設する計画。西側にこども園をコの字型に、東側の現芝生広場に子育て支援施設を配置した計画。両施設間はフレキシブルスペースで繋がっており、行き来ができるようにした計画。
動線	○ 施設利用者は東側駐車場から徒歩で（約70m）道路橋と遊歩道を通り施設へアクセスする計画。こども園の送迎は1階南側園庭から2階は渡り廊下を介し直接アクセスできるように計画する。	◎ 施設利用者は東側駐車場から徒歩で（約70m）道路橋と遊歩道を通り施設へアクセスする計画。両施設別に玄関を設け室内で行き来する計画。こども園の送迎は南西側園庭から行えるように計画する。	◎ 施設利用者は東側駐車場から徒歩で（約70m）道路橋と遊歩道を通り施設へアクセスする計画。両施設中間のフレキシブルスペースを介しアクセスする計画。こども園の送迎は南側園庭から行えるように計画する。
屋内外環境	○ こども園舎は片廊下の間取りが可能ため採光、通風において優位。	○ こども園舎は片廊下の間取りが可能ため採光、通風において優位。	△ こども園舎は片廊下の間取りが可能ため採光、通風において優位。園庭の広さ最終ラインの1000㎡が確保できず、運動会等イベント時スペースに余裕がない。陸地の畑が取得できれば園庭も確保でき、平屋で準耐火構造建築物とする必要が無い為、木造化も容易となる。
近隣への影響	○ 既存の住宅地に比較的近い位置への計画である為、騒音等のクレームが発生する可能性があるが園庭が南側となり騒音が確保出来る事と、建物が園庭を囲うように配置されているため緩衝帯となり騒音の軽減も期待出来る。	△ 既存の住宅地に比較的近い位置への計画である為、騒音等のクレームが発生する可能性がある。	○ 既存の住宅地に比較的近い位置への計画である為、騒音等のクレームが発生する可能性があるが園庭が南側となり騒音が確保出来る事と、建物が園庭を囲うように配置されているため緩衝帯となり騒音の軽減も期待出来る。
公園との一体感	◎ 園庭と渡り廊下と芝生広場が近接しているため視覚的なつながりができ、公園との一体感を持たせやすい。	○ 園庭と公園は近接しているため一体感を持たせやすいが芝生広場は西側へ孤立しているため公園との一体感は薄い印象となる。	○ 園庭と公園は近接しているため一体感を持たせやすいが芝生広場は西側へ孤立しているため公園との一体感は薄い印象となる。
セキュリティ	◎ 外部からの侵入の監視及び園庭の見守りも支障なし。	○ 外部からの侵入の監視及び園庭の見守りも支障なし。閉園時の施設間のセキュリティ管理が容易。	○ 外部からの侵入の監視及び園庭の見守りも支障なし。閉園時の施設間のセキュリティ管理が容易。
両施設間のフレキシブルな利用	△ 両施設の2Fは渡り廊下で繋がっており、1Fは渡り廊下で屋根となり雨天時もアクセスしやすいが施設間の距離があるためフレキシブルに利用するには不便な印象が残る。	◎ 両施設は室内で繋がっているためフレキシブルな利用が可能。	◎ 両施設は室内で繋がっているためフレキシブルな利用が可能。
コスト比較	△ B・C案に比べ、渡り廊下を設ける為コストが高くなる。陸地の畑を取得できれば両施設配置を近接させ渡り廊下面積を減らすことが可能の為、コストを下げる事ができる。	◎ 渡り廊下やポーチを設けないため、最もコストが安い。陸地の畑を取得できれば建築物を整形で計画できる為、コストを下げる事ができる。	○ 渡り廊下やポーチを設けないため、最もコストが安い。基礎工事コストは平屋の片面積が増となり、最もコストが高い。平屋で準耐火構造建築物とする必要が無い為、仕様を下げる事ができる為最もコストが低い。陸地の畑を取得できれば建築物を整形で計画できる為、コストを下げる事ができる。
総合評価点	21点	25点	23点



05. 計画案の検討

大津町立認定こども園他施設及び昭和園整備基本構想策定業務委託

(2) 昭和園 計画図

- ①園路
・舗装を改修する。

- ②駐車場再整備ゾーン
・こども園整備ゾーンの整備に当たり、減少する駐車場を確保するゾーン。

- ③芝生広場ゾーン
・既存の芝生広場は、地域の交流の場としてグラウンドゴルフの利用が行われているゾーン。現状維持。



- ④ステージゾーン
・祭りや催しなど多目的に利用ができる拠点として、再整備を行うゾーン。（塗装塗り直し）



⑥広場再整備ゾーン

- ・高木によりうっそうとした空間となっているため、記念碑を中心とし伐採等により明るい空間整備を行うゾーン。
- ・インクルーシブ遊具やロングスライダーを設置することで、こども園整備ゾーンと一体となった利用を促進する。



複合遊具



登る遊具（ネット遊具）



すくすくランド



ゆらゆらブリッジ

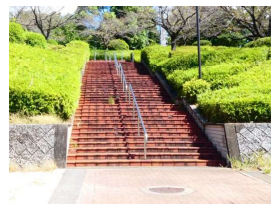


回転遊具

- ⑦東屋改修
屋根改修、木部塗装塗り直し。



- ⑧階段改修
経年劣化した踏段のタイルの張替を行う。



- ⑨橋：路面舗装、手摺塗装、橋梁点検の実施。

- ⑩駐車場再整備の実施。（乗入口拡張・舗装改修）

- ⑪サイン改修（全体）



敷地全体の案内サイン等の改修を行う。

06. 事業スケジュール

1. 事業スケジュール（設計・工事等）

【事業スケジュール(案)】

年度	令和6年度													令和7年度												
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
昭和園 ①														7ヶ月	駐車場再整備 基本・実施設計											
														橋梁点検	橋梁基本・実施設計											
認定こども園 ②			10ヶ月											16ヶ月	認定こども園 基本・実施設計											
															※本業務											
子育て支援施設 ③														16ヶ月	子育て支援施設 基本・実施設計											
その他														①②③設計											①	
														入札・契約											公告・入札・契約	

年度	令和8年度												令和9年度											
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
昭和園	7ヶ月 駐車場再整備工事 ① 橋梁改修工事																							
認定こども園	3ヶ月 認定こども園 基本・実施設計 ② 開発・確認申請												14ヶ月 認定こども園工事・監理（パーゴラ、トイレ移設を含む）											
子育て支援施設	3ヶ月 子育て支援施設 基本・実施設計 ③ 開発・確認申請												14ヶ月 子育て支援施設工事・監理（パーゴラ、トイレ移設を含む）											
その他	① 入札・契約 ②③ 公告・入札・契約												準備・引越											

[illegible]

※本スケジュールは基本構想段階での計画案のため、今後の検討に伴い変更となる可能性があります。

※工事の組み合わせ、時期によっては工期が変更になります。

07. 概算事業費

07 概算事業費

大津町立認定こども園他施設及び昭和園整備基本構想策定業務委託

1. 概算事業費

(1) ⑤大津町立こども園・子育て支援施設新築 概算事業費

概算事業費算出表						
I	工事費					
	名 称	数量	単位	単価	金 額	備 考
	1. 工事費					
	a. 建築工事					
	1) 直接仮設	1.0	式		11,900,000	
	2) 土工	1.0	式		15,470,000	
	3) 地業	1.0	式		33,780,000	
	4) 躯体	1.0	式		160,640,000	
	5) 外部仕上	1.0	式		8,190,000	
	6) 内部仕上	1.0	式		194,440,000	
	7) 外構	1.0	式		43,020,000	
	小計				467,440,000	
	b. 電気設備工事	1.0	式		99,790,000	
	c. 空調換気設備工事	1.0	式		68,160,000	
	d. 給排水衛生設備工事	1.0	式		74,130,000	
	合計（直接工事費）				709,520,000	
	2. 諸経費（共通費）	1.0	式		212,856,000	30%
	合計（工事価格）				922,376,000	
	消費税				92,237,600	10%
	I 合 計				1,014,613,600	
II	設計・監理費					
	名 称	数量	単位	単価	金 額	備 考
	1. 設計費					※R06国交省告示第8号にて算定
	a. 基本設計	1.0	式		10,670,000	
	b. 実施設計	1.0	式		30,140,000	
	小計				40,810,000	
	2. 工事監理費					
	a. 工事監理	1.0	式		13,820,000	
	小計				13,820,000	
	3. 申請業務					
	a. 開発許可申請	1.0	式		3,000,000	
	b. 農地転用申請	1.0	式		500,000	
	小計				3,500,000	
	合計				58,130,000	
	消費税				5,813,000	10%
	II 合 計				63,943,000	
III	調査費					
	名 称	数量	単位	単価	金 額	備 考
	1. 敷地調査費					
	a. 地質調査	1.0	式		1,800,000	ボーリング調査 30m×2箇所
	b. 敷地測量	1.0	式		1,250,000	
	小計				3,050,000	
	消費税				305,000	10%
	III 合 計				3,355,000	
	I + II + III 合 計				1,081,911,600	

※上記費用は概算の為、今後の計画内容及び行政協議等で変更となる場合があります。

※記載の番号（①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪）は昭和園全体計画図の各整備ゾーンの附番を示します。

軽ライト設計

07 概算事業費

大津町立認定こども園他施設及び昭和園整備基本構想策定業務委託

1. 概算事業費

(2) ②⑩駐車場再整備工事 概算事業費

概算事業費算出表						
I	工事費					
	名 称	数量	単位	単価	金 額	備 考
	1. 工事費					
	②駐車場再整備					
	1) 直接仮設	3,300.0	m ²	1,500	4,950,000	遣り方、養生、清掃
	2) 撤去工事	3,300.0	m ²	4,000	13,200,000	既存樹木、舗装、その他工作物
	3) 舗装工事	3,300.0	m ²	5,000	16,500,000	As舗装、車止め、区画線
	4) 固障工事	150.0	m	20,000	3,000,000	フェンス、フェンス基礎
	5) その他付帯設備工事	1.0	式		5,000,000	外灯、水栓など
	小計				42,650,000	
	⑩東側駐車場再整備					
	1) 直接仮設	3,850.0	m ²	1,500	5,775,000	遣り方、養生、清掃
	2) 撤去工事	3,850.0	m ²	4,000	15,400,000	既存樹木、舗装、その他工作物
	3) 舗装工事	3,850.0	m ²	5,000	19,250,000	As舗装、車止め、区画線
	4) 固障工事	250.0	m	20,000	5,000,000	フェンス、フェンス基礎
	5) 乗入口改修工事	1.0	式		5,000,000	
	5) その他付帯設備工事	1.0	式		5,000,000	外灯、水栓など
	小計				55,425,000	
	合計（直接工事費）				98,075,000	
	2. 諸経費（共通費）	1.0	式		29,422,500	30%
	合計（工事価格）				127,497,500	
	消費税				12,749,750	10%
I	合 計				140,247,250	
II	設計費					
	名 称	数量	単位	単価	金 額	備 考
	1. 設計費					
	a. 基本設計	1.0	式		1,840,000	②+⑩
	b. 実施設計	1.0	式		4,280,000	#
	小計				6,120,000	
	消費税				612,000	10%
II	合 計				6,732,000	
III	調査費					
	名 称	数量	単位	単価	金 額	備 考
	1. 敷地調査費					
	a. 敷地測量	1.0	式		4,100,000	②+⑩
	小計				4,100,000	
	消費税				410,000	10%
III	合 計				4,510,000	
I + II + III	合 計				151,489,250	

※上記費用は概算の為、今後の計画内容及び行政協議等で変更となる場合があります。

※記載の番号（①②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪）は昭和園全体計画図の各整備ゾーンの附番を示します。

棚ライト設計

07 概算事業費

大津町立認定こども園他施設及び昭和園整備基本構想策定業務委託

1. 概算事業費

(3) ⑨橋梁改修工事 概算事業費

概算事業費算出表						
I	工事費					
	名 称	数量	単位	単価	金 額	備 考
	1. 工事費					
	1) 直接仮設	1.0	式		500,000	吊り足場
	2) 塗装改修	1.0	式		2,760,000	橋梁、防護柵部分
	3) 舗装改修	1.0	式		80,000	歩道表層
	4) 橋面防水改修	1.0	式		120,000	塗膜防水
	5) 舗装版撤去	1.0	式		120,000	
	6) 伸縮装置	1.0	式		640,000	
	7) 環境・安全対策費	1.0	式		5,000,000	
	小計（直接工事費）				9,220,000	
	2. 諸経費（共通費）					
	共通仮設費	1.0	式		1,903,008	
	現場管理費	1.0	式		10,308,711	
	一般管理費	1.0	式		3,922,062	
	合計（工事価格）				25,353,781	
	消費税				2,535,378	10%
I	合 計				27,889,159	
II	調査・設計費					
	名 称	数量	単位	単価	金 額	備 考
	1. 設計費					
	a. 調査・設計	1.0	式		3,020,000	
	b. その他原価	1.0	式		1,300,000	
	c. 一般管理費等	1.0	式		2,330,000	
	小計				6,650,000	
	消費税				665,000	10%
II	合 計				7,315,000	
III	点検費					
	名 称	数量	単位	単価	金 額	備 考
	1. 点検費					
	a. 点検	1.0	式		340,000	
	b. その他原価	1.0	式		120,000	
	c. 一般管理費等	1.0	式		240,000	
	小計				700,000	
	消費税				70,000	10%
III	合 計				770,000	
	I + II + III 合 計				35,974,159	

※上記費用は概算の為、今後の計画内容及び行政協議等で変更となる場合があります。

※記載の番号（①②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪）は昭和園全体計画図の各整備ゾーンの附番を示します。

㈱ライト設計

07 概算事業費

大津町立認定こども園他施設及び昭和園整備基本構想策定業務委託

1. 概算事業費

(4) ①④⑥⑦⑧⑩昭和園再整備工事 概算事業費

概算事業費算出表						
I	工事費					
	名 称	数量	単位	単価	金 額	備 考
	1. 工事費					
	①園路改修工事					
	1) 直接仮設	2,160.0	m ²	1,500	3,240,000	遣り方、養生、清掃
	2) 撤去工事	2,160.0	m ²	3,000	6,480,000	既存As舗装撤去・処分
	3) 舗装工事	2,160.0	m ²	12,000	25,920,000	自然色脱色As舗装
	小計				35,640,000	
	④ステージ改修工事					
	1) 直接仮設	1.0	式		100,000	仮設足場、養生、清掃
	2) 木部塗装改修	150.0	m ²	6,000	900,000	天端部木取替、木腐朽部取替等
	3) ステージ床改修	80.0	m ²	35,000	2,800,000	人工木デッキ張を想定
	小計				3,800,000	
	⑤広場再整備工事					
	1) 樹木伐採	10.0	本	200,000	2,000,000	高木
	2) 遊具等設置	1.0	式		200,000,000	ロケットライダー、インクルード遊具等
	小計				202,000,000	
	⑦東屋改修工事					
	1) 直接仮設	130.0	m ²	6,000	780,000	仮設足場、養生、清掃
	2) 屋根塗装改修	90.0	m ²	6,000	540,000	
	3) 木部塗装改修	1.0	式		500,000	
	小計				1,820,000	
	⑧階段改修工事					
	1) 直接仮設	1,070.0	m ²	2,000	2,140,000	改修面積＝平場面積×1.5
	2) 撤去工事	1,070.0	m ²	3,000	3,210,000	既存タイル撤去・処分
	3) 階段改修	1,070.0	m ²	35,000	37,450,000	人工木デッキ張を想定
	小計				42,800,000	
	⑩サイン改修工事					
	1) サイン改修	1.0	式		5,200,000	案内板4基、サイン改修12基
	小計				5,200,000	
	合計（直接工事費）				291,260,000	
	2. 諸経費（共通費）	1.0	式		87,378,000	30%
	合計（工事価格）				378,638,000	
	消費税				37,863,800	10%
I	合 計				416,501,800	
II	設計費					
	名 称	数量	単位	単価	金 額	備 考
	1. 設計費					
	a. 基本設計	1.0	式		4,830,000	①+④+⑤+⑦+⑧+⑩
	b. 実施設計	1.0	式		11,250,000	#
	小計				16,080,000	
	消費税				1,608,000	10%
II	合 計				17,688,000	
III	調査費					
	名 称	数量	単位	単価	金 額	備 考
	1. 敷地調査費					
	a. 敷地測量	1.0	式		4,000,000	①+⑤
	小計				4,000,000	
	消費税				400,000	10%
III	合 計				4,400,000	
I + II + III	合 計				438,589,800	

※上記費用は概算の為、今後の計画内容及び行政協議等で変更となる場合があります。

※記載の番号（①②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪）は昭和園全体計画図の各整備ゾーンの附番を示します。

㈱ライト設計